

数理学の展望

国際的展開と諸科学・産業との連携拡大を探る

2023年3月14日(火)
日本学術会議講堂

11:00~17:00
東京都港区六本木 7-22-34
東京メトロ千代田線「乃木坂」駅5出口

主催：日本学術会議・数理科学委員会数学分科会



IMU分科会



後援：日本数学会



日本応用数理学会



統計関連学会連合



国際数学連合 (International Mathematical Union, IMU) の加盟団体である日本学術会議が、IMU加盟国の数学委員会 (Committee for Mathematics) として数理科学委員会IMU分科会を設置し、その活動を開始したのは 2012年1月である。それ以来、IMU分科会は積極的にIMUに於ける我が国の存在感の向上に努め、具体的な成果を挙げてきた。一方、国内の学術の展望を示した提言『学術の展望—学術からの提言2010』の一部を成す報告『数理科学分野の展望』を数理科学委員会が発出したのは 2010年4月である。以来、数理科学委員会は一貫して数学・数理科学の重要性を強調するとともに、諸科学・産業との連携研究の推進の在り方を審議し、2017年9月には『数理科学と他の科学分野や産業との連携の基盤整備に向けた提言』を発出した。産業界での数学の需要も高まり、数理科学人材育成も重要課題である。本シンポジウムでは、第一部では我が国の数理科学研究の成果を報告し、数理科学の研究について非専門家を対象に説明し、第二部では数理科学の可能性と諸科学・産業との連携研究推進について、各界からの要請や期待を伺い、共に話し合うことを目的とする。

なお、本シンポジウムの開催予定日である3月14日は、円周率にちなみ、国際数学デー (International Mathematics Day) と呼ばれ、IMUの下、世界中で一般向けの数学のイベントも開催されている。今回のシンポジウムはその趣旨に沿ったイベントではないが、数理科学の研究者のみならず、より一般の方にも我が国の数理科学研究の現状と将来性について知っていただく機会としたい。

第一部 11:00~12:30

我が国の数理科学の国際的展開

第一部総合司会 清水扇丈

(日本学術会議連携会員、京都大学教授)

開会の挨拶・趣旨説明
国際的活動の説明

小藺 英雄 (日本学術会議連携会員、早稲田大学教授、東北大学教授)

IMUの活動紹介と
日本の貢献

森 重文 (京都大学国際高等研究院長、IMU元総裁)
中島 啓 (日本学術会議特任連携会員、東京大学教授、IMU総裁)・ビデオ

国際基礎科学年と
数理科学の国際展開

野尻 美保子 (日本学術会議第三部会員、高エネルギー加速器研究機構教授)

ICM招待講演者
による講演

望月 拓郎 (京都大学教授)、緒方 芳子 (東京大学教授)・ビデオ

第二部 13:30~17:00

諸科学との分野横断研究・産業との連携研究の 共通基盤を担う数理科学の在り方と将来展望

第二部総合司会 伊藤由佳理

(日本学術会議第三部会員、東京大学教授)

趣旨説明

齋藤 政彦 (日本学術会議第三部会員、神戸学院大学教授)

文部科学省研究振興局
による講演

藤井 典宏 (文部科学省研究振興局基礎・基盤研究課融合領域研究推進官)

経済界からの期待

江村 克己 (日本学術会議連携会員、日本電気株式会社NECフェロー)

諸科学と数学の連携の
可能性

上田 修功 (日本学術会議連携会員、NTTコミュニケーション科学基礎研究所 NTT フェロー・
上田特別研究室長)

関連学協会および
研究機関による講演

一般社団法人日本数学会 (清水扇丈理事長)
一般社団法人日本応用数理学会 (齊藤宣一理事)
統計関連学会連合 (樋口知之理事長)
九州大学マス・フォア・インダストリ研究所 (梶原健司所長)
京都大学数理解析研究所 (小野薫所長)

総合討論

パネルディスカッション

閉会の挨拶

小澤 徹 (日本学術会議第三部会員、早稲田大学教授)

【連絡先】小澤徹 (日本学術会議第三部数理科学委員会委員長) txozawa[at]waseda.jp [at]を@に変更願います。

参加には事前登録が必要です。下記URL、または右QRコードにて **2023年3月13日 (月)** までにご登録をお願いいたします。

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSdQ7KqllK8ayC4bNdAQftqtEZufBoPehI4qqknhm6FxfdrBhA/viewform?usp=pp_url

